

No.54 熊 広報

平成27年12月15日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
地区長 竹中 兼利
公民館長 三浦喜代次

第二十回熊地区文化展

実行委員長 竹中 兼利

十一月七日(土)・八日(日)の二日間
第二十回熊地区文化展が開催されまし
た。

今年もたくさん作品が飾られ、観覧者の目を楽しませてくれました。絵画・書・写真・手芸・工芸・生け花などの力作が多数出品され、熊地区の文化の高さが強く感じられました。子どもの作品もポスターや習字の作品が多くなり、この文化展が続けられることを心強く感じました。

刈谷市長 竹中良則様をはじめとして国会議員の大西健介様、刈谷西部の前地区長様や中部地区長・公民館長様も観覧され、熊地区の水準の高さに感心されていました。



作品を鑑賞する大勢の来館者



手芸品販売の「趣味の会」



文化展頑張るぞ

恒例となっているお茶の接待では少し甘みがおさえられたお菓子にお茶があい、気持ちを落ち着かせていただきました。

お手伝いの子どもたちも真剣にお茶接待をしていました。

外のテントでは婦人会による団子販売が行われ、おいしいおいが漂い、なでしこ会や赤十字奉仕団から恒例のコーヒータ、豚汁の接待を受けてにぎやかでした。

外では宮農組合の皆さんが丹精込めて育てた野菜やみかん、お花などを廉価で販売されたり、手芸作品を売ったり、バルーンアートを楽しんだり、竹鉄砲や竹笛で遊んだりと多くのコーナーが設けられ、それぞれに楽しんでいました。

今年は竹燈りの皆さんが作成した万燈の「青公家と梅王丸」も出品され、会場を飾ってくれました。

成功のうちに終えた文化展の準備から展示・接待にご尽力くださいましたみなさんに心から感謝申し上げます。

婦人会

広報担当 西村、樋口

今年の婦人会での作品は、苔毬を出品しました。

苔毬は、前年度の婦人会会長の浅川さんのご指導のもと、作らせて頂きました。苔毬作りは、苗の土を少し取り毬の様に整え、そこに苔を巻き、苔が剥がれないように糸で巻いたり...と、和気あいあいと作り、大変いい経験になりました。実際に文化展で飾ると、一人一人個性があり、素敵な作品になりました。

また、近所の方が育てた菊などのお花の販売もしました。毎年恒例の「みたらし団子やさん」では、みんな団子を焼くことは初心者でしたが、お客さんの要望を聞きながら、一つ一つ丁寧に焼きました。二日目は朝から雨が降りましたが、昼過ぎには完売、二日間で二千本以上の団子を皆さんに食べて頂くことができました。ありがとうございました。



頑張ったダンゴ焼き

産直野菜販売

熊地区宮農改善組合

組合長 三浦 勝治

文化展での野菜販売も今年で六年目を迎えました。

今年は八月上旬の天候不順で葉物野菜の値段が高騰していて、特にキャベツ・白菜等はまだ地元には無くて産直センターからの仕入れになり、売れ残ったらどうしようかなどと心配していましたが、お客さんは心得ておられてそんな心配は全くありませんでした。



みんな笑顔で「いらっしゃいませー！」

里芋やホーレン草などは沢山作り過ぎていたのですが、多くの皆様に購入して頂きありがとうございました。

お天気にも恵まれた事もあって商品は完売いたしました。

お客様との会話も楽しくて来年もまた頑張りたいと思います。

作品介绍



子ども会

お茶会のお手伝いをやって

六年 野田 佳彰

ぼくは、文化展のお茶会のお手伝いに行きました。お客さんにお抹茶を出す事は、初めてなので、とてもきん張しました。作法を教えてもらって何回かやる内に慣れてきました。お皿やお茶わんを回収するタイミングも難しかったです。貴重な体験ができて、楽しくて面白かったです。



緊張したお茶運び

文化展のお抹茶出し

六年 宗石 彩那

私は文化展でお抹茶を出すお手伝いをしました。一日目は、思ったよりも人が来て、いそがしかったです。一日目の後半から二日目は、お抹茶を立てるお手伝いをしました。「上手だね。」といってくれたのでうれしかったです。今度は、お客さんになって来たいです。

熊文化展を終えて

“花もだんごも”あり

公民館長 三浦 喜代次

銀杏の葉も色づき始めた十一月七日、八日の両日熊地区恒例の文化展を開催いたしました。

開催二日目はあいにくの雨になってしまいました。二日間延べ五〇〇人を超える多くの皆さま方にご来場いただきました。又展示作品も百七〇余点の出品を頂きありがとうございました。

本年は二十回目にふさわしく「竹燈りの会」より「青公家と梅王丸」の中万燈、「ふなつしー」「ジバニャン」の子ども万燈を展示し文化展に花を添えて頂きました。特に子供たちは触ったり、眺めたりなかなかその場を離れようとしないので母親に手を引っ張られるなど、ほほえましい光景でした。

二階の展示会場では入口より盆栽の松、甲冑、きり絵の上田城と直線上に展示し、大樹寺の山門から眺める岡崎城や来年のNHKの大河ドラマ「真田丸」をイメージし配置しました。

その他 お抹茶・生け花・豚汁・野菜・だんご・菊・手芸品ブルーアート・竹細工など“花もだんごも”あり 地域の皆さま方と取り組んだ文化展でした。

老壮会だより

老壮会 会長 村井 修治

楽しかった親睦一泊旅行

十月二十六日～二十七日信州・奥蓼科の紅葉と横谷温泉の旅。二十六日快晴の朝、八時に刈谷を出発。最初の目的地、諏訪大社上社を参拝。参道を巡る身体が何かしら引き締まる思いがした。次に味噌蔵の見学をして宿泊先の横谷温泉旅館に午後三時到着。紅葉と滝を散策で楽しむ人・橋幸夫そっくりショーを楽しむ人・宿の温泉をゆつくり楽しむ人、それぞれに楽しんだあと、皆が一番楽しみにしている宴会の始まり。料理にお酒に和気あいあいと楽しむ中、カラオケに始まり舞踊にハーモニカ演奏、そしてパフォーマーの出演と次々に達人が得意芸の披露、拍手喝采の嵐で時が流れ超楽しい宴会の終了。

二日目は初めての経験という人が多いそば打ち体験をした。次に体験したのはリング狩り・食べ放題を楽しんで帰着。

今回の親睦旅行、初めての人・二回目の人・何年振りかの人を合わせて三十六名バスの中、宴会の席、常に盛り上がり最高の旅でした。



初めてのソバ打ち



おいしかったリンゴ



元気の仲間との集合写真

「交通安全川柳」優秀賞受賞



刈谷警察署募集の高齢者が考える「交通安全川柳」に老壮会として応募した代表作が、優秀作品に選ばれました。

代表作品

作者 村井 修治

・止まるくせ

見るくせつけて 横断を

十月十四日秋の歩け歩け大会の開会式で刈谷警察署長から表彰状を受けました。

熊野神社だより

総代会会長 鈴木 眞二

熊野神社「秋の大祭」は、前夜からの雨で皆様には、大変ご心配をお掛け致しましたが、午前十時からの式典開始前には、雨も上がり、多くの皆様方をお迎えして盛大に執り行う事が出来ました。

大祭前日には、老壮会、子ども会、八幡町地区委員、班長さん、大祭当日には、パトロール隊、消防団等の多くの皆様方のご支援のおかげで大祭を安全に無事終える事が出来心より感謝致しております。



熊野神社巫女さんのお神輿鈴杓

今年もあと僅かとなり、総代一同「年末年始」の準備に取り掛かっています。

▽主な準備日程

・しめ縄づくり 十二月十九日(土)

・門松づくり 十二月二十六日(土)

・しめ縄飾り付け 十二月三十日(水)

・ご都合の良い方は是非ご参加下さい。

初詣は、熊野神社にご家族揃ってお参りください、お越しをお待ちしております。

○熊野神社の拝殿には

熊郷土史研究会 竹中 兼利

熊野神社の拝殿にはいろいろなものが残されています。まずは正面の絵が目に入ります。この絵は仁徳天皇が即位されて民のくらしを見てよい政治を行われた古事を絵にしたものです。竹中喜太郎さん、村松重次さん、深谷輝夫さん、神谷安治さんの寄贈によるものです。

江戸時代の熊村の主だった人の名前を書いたものもあります。そこには熊邑中老中と書いてあり、五人組総代と世話人の名前が書かれています。ご先祖の名前がみつかるかも知れませんね。年号は天保九歳戌(一八三八)八月吉日とあります。弓で金的を当てた記念として奉納された額もあります。大和流の井川祇智門下の江坂克之助重堅という人が文久辛酉歳八月九日に奉納しています。

拝殿の入口の戸の上に三十六歌仙にあやかて三十六の絵入りの俳句が掲示されています。選者は中島秋挙(熊村生まれの刈谷藩士で俳人)の弟子板倉崔馬(足助の人)で三十六の俳句が絵とともに掲示されています。だんだん薄くなつていますが大切にしたいものです。万延元年庚申中糶の奉納と書かれています。



いずれも貴重な熊の財産です。大切に守ってほしいものです。

熊地区防災訓練

▽宝町の避難訓練を終えて

宝町防災リーダー 鈴木 富佐夫

十月三十一日、二回目の宝町避難訓練を、豊田自動織機さんの体育館をお借りして実施しました。

今回の避難訓練は、昨年の反省を生かし、高齢者・要援護者の方を配慮して取り組みました。高齢化率が二十七％を越えます宝町は、隣人同士で助け合い避難することが今求められています。必要に応じて、車いす・乳母車・リヤカーなどを準備する対策も考えていかなければと思っています。

各班の班長さんには、一時避難場所での安否確認という大役を果たしていただき、ありがとうございました。

協力していただきました刈谷市危機管理課、(株)豊田自動織機さん、(株)エスケイエムさん、刈谷市赤十字奉仕団の皆さん、東中学校のボランティアの皆さんに感謝します。

▽八幡町の避難訓練を終えて

八幡町防災リーダー 柘植 敏彦

十一月二十二日、八幡町で初めての避難訓練を実施しましたところ、三百名を超える方が参加されました。八幡町の皆さんの防災意識の高さを知ることができ、とても心強く感じました。各組の地区委員長さん、各班の班長さん、ボランティアの皆さんの協力に感謝します。

熊地区防犯について

熊地区安全パトロール隊

隊長 佐藤 正道

最近、刈谷市に於いても犯罪『侵入盗、自動車盗、車上狙い、自転車盗』が多発しています。あなたの家族、お子様、車は大丈夫ですか。

地区安全パトロール隊は、地域住民が安全の為に、地域のパトロールを、昼と夜、定期的に実施して居りますが、まだまだ十分でなく安心出来ません。

地域の人々の目で、『不審者を、近づけない、入れない、出さない』を心がけて、『みんなで実践、目くばり、声かけ、一〇番』安心と、安全を守る熊の民』を合言葉にして、地域住民が安全で安心して暮らせる様に頑張っています。

熊地区安全パトロール隊員を募集しています。ご協力おねがいします。入隊希望の方は、左記の隊員まで、ご連絡ください。

隊員には制服(ウインドブレーカー、ベスト、帽子)貸与支給いたします。

佐藤 正道

伊熊 勝彦

神谷 茂

大鹿 勝己

熊地区安全パトロール隊表彰

受ける

以上

十月十二日 名古屋市中区上津にて、愛知県地域安全研究会より、自主的に地

域のパトロール活動実施に対して、金一封と共に表彰を受けましたので、地区の皆様協力による賜物と感謝して、報告致します。尚、賞状は市民館入り口内に、飾って有ります。



熊地区安全活動の成果

地域ボランティアグループ

熊なでしこ会 笠松 信子

熊地区の皆様こんにちは。

今年も深まる秋の中、文化展が開催されました。すばらしい作品の展示や物品販売などがあり、とても賑わいました。

なでしこ会のテントでは赤十字奉仕団炊出しの豚汁を提供し、コーヒー・柿などお楽しみ頂きました。

今年も豊田自動織機さんからいただいた、災害用備蓄品のアルファ米の試食もありました。試食は一部の方でしたが美味しかったですね。

これから十二月になごやか交流会を予定しております。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

刈谷市消防団第四分団より

筆頭班長 青山 慧一

はじめに、日々の消防団活動に於きまして地区の皆様が多なるご理解とご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

十月十一日に熊野神社にて執り行われた秋の大祭では本年も餅投げの警備に就かせて頂きましたが、古くより続く地区の行事に、老若男女問わず多くの方々が習慣的に参加するということは、皆様が地元を愛する証であり、親子へ受け継いでいくべき心そのものであると感じます。

見渡せば熊地区内にも御新築の家が増えて参りました。特に、移り住まわれてこられた方々は積極的に地区の行事にご参加の上、交流を通じて防災・防犯に繋がる絆を深めて頂きたいと思っています。

最後になりますが現在、熊地区の世帯数およそ千五百世帯に対して、消防団員は総員僅か八名と危機的な状況にあり、性別問わず十八歳以上の新入団員を常時募集しております。

興味をお持ちの方には、消防団活動を知って頂く為の見学を実施しております。分団長、奥村までお気軽にご連絡下さい。

連絡先

『地元愛の心をお持ちの方へ』

どうか、ご協力をお願い申し上げます。